

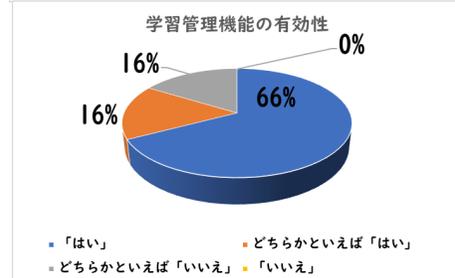
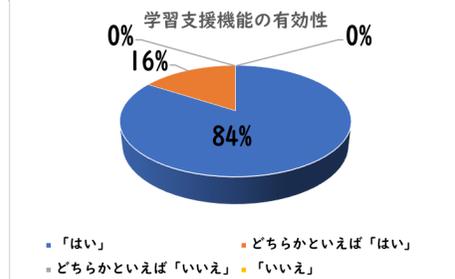
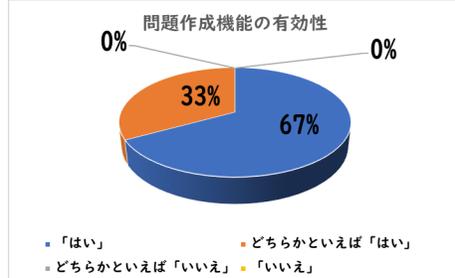
文部科学省CBTシステム（MEXCBT：メクビット）活用事例

【福岡県】福岡市立城南中学校 3学年主任 有田 慶彦 先生（理科）

【理科担当教員によるMEXCBTの機能に関するアンケート結果】

■■■学校HPのURL <https://sites.google.com/fuku-c.ed.jp/jhjonan/index>■■■

<p>活用の概要</p>	<p>【校内研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> MEXCBTの3つの機能（問題作成機能・学習支援機能・学習管理機能）について校内研修で教員に理解をはかった。 <p>【授業での活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ちばのやる気学習ガイド 理科」の単元問題を配信する。 授業開始10分間を実施の時間とする。 結果のExcelデータを表に整理して「得点率」から個別指導にいかす。 観点別評価の「知識・技能」の評価資料として活用する。
<p>子どもたちの反応</p>	<p>【生徒の意見(アンケート回答)】</p> <p>「自分がわかる範囲で問題を解いたり復習したりすることができて、自分のペースで勉強できる。」</p> <p>「すぐに○×のチェックができるから、自分の成績を確かめることができ、得意分野や苦手分野がわかる。」</p>
<p>先生の反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の「タイムリー」「ニーズ」に合わせた問題や課題の設定ができることで、学習内容の定着をはかることができる。 生徒の学習進捗や成績をいつでも把握することができるので、生徒の苦手分野を理解して個別の指導・支援に活かすことができる。 突発的な自習課題としても有効に活用できる。 <p>●【右図】参考 理科担当教員によるMEXCBTの機能に関するアンケート結果</p>
<p>今後の活用※</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「定期考査」で活用できるとありがたい。各学校で作成した定期考査の問題を参考に配信できるようになると、定期考査期間の「問題作成・印刷・採点」などの業務が改善されて、「働き方改革」の一環として取り組むことができる。



※ 文部科学省では、いただいたご意見やご要望を参考に、順次、MEXCBTの改善を進めています。なお、問題情報管理システムをご利用いただくと、他の自治体や他校の作成した複数の問題からテストを再構成することができます。